

全中道研会報

令和7年8月25日 No.1

全日本中学校道德教育研究会

<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010>



会長挨拶

道德教育の将来を考える

持続可能な組織の

発展を目指して

～全国と各ブロックとの

往還を進める全中道研～



令和7年度 全日本中学校道德教育研究会

会長 加藤 敏久

令和7年度、全日本中学校道德教育研究会の会長を務めることになりました東京都世田谷区立砧中学校長の加藤敏久です。輝かしい歴史と伝統をもつ全中道研の会長職を務めさせていただくことはとても大変光栄なことでありますが、中学校で特別の教科 道德が始まって7年が経ち、新しい学習指導要領のことも話題になる中で、学校現場の道德教育を一層充実、発展させるということの重要性をひしひしと感じております。なにとぞ副会長、理事、顧問、参与、事務局の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、現代社会は、情報化やグローバル化が急速に進み、価値観が多様化しています。このような時代だからこそ、道德教育の重要性はますます高まっていると感じています。質と量の改善は進んでいるものの、「考え、議論する道德」にはまだまだ道半ばです。

また、コロナによる影響もあり、ICTの活用が急速に進み、タブレットパソコンが道德科の授業でも新たなツールとして使われるようになりました。文科省からは、生成AIの利活用に関するガイドラインも示されました。

しかしながら、昭和33年（1958年）に道德が教育課程に位置付けられて以来、多少の文言の改訂はあるものの、「教師は生徒とともに考え、悩み、感動を共有していくという姿

勢で授業に臨み」と学習指導要領解説道德編に示されている文言は、道德が教科になっても、創設以来変わらず受け継がれている道德教育を行う教師の姿勢であり、指導の在り方であることを忘れてはなりません。本研究会を運営するに当たり、このことを確かな基盤とし、道德教育の最新の研究成果や実践事例を共有して、参加者同士で意見交換や議論を深めることで、明日からの教育活動に活かせる学びを得ていただきたいと思います。

具体的には、

- 1 道德教育の理念と目標、学術的な研究
- 2 効果的な道德科の授業の進め方
- 3 小学校と高等学校をつなぐ道德教育
- 4 多様な価値観と生徒に対応する道德教育
- 5 地域社会と連携した道德教育
- 6 生成AI時代の道德教育

など、多岐にわたるテーマについて、文部科学省教科調査官を始めとする有識者、諸先輩方の方々のご講演、現場の先生方による実践発表や講座、研修を予定しております。

また、参加者同士の交流を深めるためのワークショップやグループディスカッションにも積極的にご参加いただき、道德教育の未来を共に語り合いましょう。

さて、令和7年度は全中道研の岐阜大会、関中道研の山梨大会など、各ブロック大会の開催に向けて、大会役員の皆様とともに活動してまいります。そして、特に全国大会により多くの方々にご参加いただき、その最新の学びを各ブロックに持ち帰って広めていただけるよう、予算を措置することができました。上廣倫理財団、石橋財団の皆様には心から感謝申し上げますとともに、今後のご支援も引き続きお願い申し上げます。

第1回 役員・理事会 報告

令和7年7月5日（土）午後1時より、全中道研役員・理事会（第1回）を上廣倫理財団UFホール会場とオンラインを活用したハイブリッド型で実施しました。

全中道研令和6年度の木村会長からの挨拶「持続可能な全中道研」に続き、顧問の方々からご挨拶をいただきました。また、ご参加いただいた理事の皆様から自己紹介とともに各地区の活動状況について報告していただきました。

主な議事・報告については、事前に配付した資料をもとに承認をいただきました。

- 1 令和6年度事業概要報告
- 2 令和6年度決算報告
- 3 令和7年度事業計画案
- 4 令和7年度予算案
- 5 令和7年度役員組織



次に、事前に配付した資料をもとに今後の予定として、岐阜大会、東京大会の説明をいただきました。

6-① 全国大会について

【令和7年度 岐阜大会】

大会主題を「自他ともによりよい生き方を求め、実践する生徒を育てる道徳教育はどうあるべきか」として、令和7年11月27日（木）から28日（金）の二日間で大会を開催します。大会一日目は岐阜市立長良中学校

を会場に、公開授業及び研究討議・指導助言を行います。また、全国役員・理事会の会場は、ホテルグランヴェール岐山を予定しています。二日目は、ホテルグランヴェール岐山を会場に、基調提案、課題別分科会、指導講話等を行います。

◇課題別分科会

第1分科会（九州・東海北陸）

「教材研究と効果的な発問を中心とした授業づくり」

第2分科会（北海道・近畿）

「教材研究と自己の振り返りを大切にした授業づくり」

第3分科会（東北・中国）

「ICTを効果的に活用した道徳科の授業づくり」

第4分科会（東京・東海北陸）

「道徳科と他の教育活動との関連」

第5分科会（関東甲信越・四国）

「今日的な課題や地域性を生かした道徳教育」

参加申し込みは9月上旬の最終案内で確認する予定になっています。岐阜大会の大会申し込みにつきましては、9月上旬に最終案内を全中道研のホームページに掲載しますのでご確認ください。

【令和8年度 東京大会（第1次案内）】

大会主題を「人間としての生き方について考えを深める道徳科の指導の工夫」一補い、深め、発展させることを留意した取組の充実一とし、令和8年11月5日（木）から6日（金）の二日間で大会を開催します。大会一日目は、板橋区立赤塚第二中学校を会場に午前中に公開授業を行い、午後に授業協議会、課題別分科会、理事会を行います。また、大会二日目は、板橋区立文化会館大ホールを会場に指導講話、記念講演を行います。

◇課題別分科会

第1分科会（関東・四国）

「道徳科の指導と評価の一体化」

第2分科会（東京・中国）（北海道・関東）

「道徳科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

第3分科会（東北・東京）

「道徳科における補助教材（副教材）の効果的な活用」

第4分科会（東京・九州）

「今日的な課題や地域特性を生かした道徳科の推進」

第5分科会（東北北陸・近畿）

「道徳教育推進教師を中心とした道徳科の展開」

【その他】

今後の全国大会は、令和9年度 奈良大会、令和10年度 愛媛大会、令和11年度 島根大会、令和12年度 長崎大会、令和13年 岩手大会の予定です。全中道研の事務局では、今後も各地区と連携して全国大会の実施について計画的に進めてまいります。

6-② ブロック大会について

（1）北海道ブロック

第60回北海道道徳教育研究大会札幌大会

令和7年10月31日から11月1日

札幌市立真栄中学校

「自己理解を深め、よりよい生き方を自ら考え続ける児童・生徒の育成」

（2）東北ブロック（秋田県）

第22回東北地区中学校道徳教育研究大会秋田大会

令和7年10月24日

大館市立田代中学校

「道徳的価値の理解を深め、よりよく生きようとする児童生徒の育成～主体的・対話的で深い学びを支える9つの視点～」

（3）関東甲信越ブロック（山梨県）

第54回関東甲信越中学校道徳教育研究大会、

第61回山梨県道徳教育研究大会

令和7年10月24日（金）

授業視聴期間：令和7年10月 6日（月）～

10月24日（金）12：00まで

甲府市立西中学校、北杜市立須玉中学校、西桂町立西桂中学校

やまなし地域づくり交流センター

＊オンライン開催

「多様化、個別化する社会の中で、ともに考え、よりよく生きる力を育む道徳教育」

（4）東京ブロック（東京都）

※ 全体会での説明と同様

（5）東海北陸ブロック（岐阜県）

※ 全体会での説明と同様

（6）近畿ブロック（大阪府）

第31回近畿中学校道徳教育研究大会大阪大会、第21回大阪府中学校道徳教育研究発表会

令和7年11月21日

公開授業：千早赤阪村立中学校

全体会：すばるホール

『「主体的・対話的で深い学び」から「存在の建設」へ』～考え議論することを通して、自己の生き方についての考えを深める道徳教育～

（7）中国ブロック（広島県）

第28回愛媛県教育研究協議会小・中学校道徳教育研究大会

令和7年8月5日

松前総合文化センター

「よりよく生きるための基盤となる道徳性が育つ道徳教育の研究」

（8）四国ブロック

隔年で実施のため、令和8年度に香川県で四国大会を開催予定。

（9）九州ブロック（鹿児島大会）

第48回九州地区中学校・第38回鹿児島県中学校道徳教育研究大会

令和7年10月3日（金）

鹿児島市喜入公民館、鹿児島市立喜入中学校
ウェルビーイングの向上をめざした道徳教育の充実 ～地域とのつながりを生かし、自己肯定感を高める授業づくりを通して～

7 その他

- (1) 功労者の推薦〔8月8日締切〕
全中道研に貢献した会員について、記念品を贈ります。
- (2) 研究大会等の報告〔8月8日締切〕
希望に応じて、祝電を送付します。
- (3) 各地区大会
- ア 第64回埼玉県道徳教育研究大会ふじみ野大会
令和7年10月29日(水)
ふじみ野市立葦原中学校
「話し合い、認め合い、助け合い、共に築く道徳の実践を目指して」～互いの個性と多様性を尊重する～
- イ 第59回関東地区小学校道徳教育研究大会 茨城大会
令和7年11月28日(金)
土浦市立土浦第二小学校
多様な価値観に触れながら 心豊かで共に高め合える 道徳科の授業
- ウ 第22回 滋賀県小・中学校道徳教育研究大会
令和7年11月11日(火)
湖南市立日枝中学校
「自ら課題をもち、考え続ける『特別の教科 道徳』の在り方」～自分事としてとらえるための自己を見つめ直す時間～
- エ 第20回兵庫県中学校道徳教育研究大会 神戸大会
令和7年8月7日(木)
神戸市東灘区文化センター(うはらホール)
「考える楽しさを創る」道徳科の授業づくりのために
- オ 第65回熊本県道徳教育研究大会玉名・荒尾大会
令和7年11月26日
玉名市立岱明中学校、玉名市立鍋鍋小学校
「自分の生き方についての考えを深め、よりよく生きる子どもを育む道徳科の授業づくりー子どもをつなぐさまざまな指導方法の工夫を通してー」
- (4) 次回役員・理事会の確認
第2回：令和7年10月24日(金)
・オンライン開催

第3回：令和8年2月28日(土)

・ハイブリッド開催

上廣倫理財団UFホール

8 講演

「道徳教育の更なる改善・充実を目指して」
国立教育政策研究所教育課程調査官(併任)
文部科学省初等中等教育局教科調査官

大平剛生先生

文部科学省より大平調査官をお招きし「道徳教育の改善・充実を目指して」と題して、ご講演をいただきました。大平調査官からは、令和の日本型学校教育や道徳教育の推進の要としての道徳科、学習指導要領の改訂等について、ご講義いただきました。特に、道徳科の内容項目に関しては、小学校、中学校、高等学校と発達段階に応じた体系的な指導が必要であるということ、具体例を交えながらご指導いただきました。

詳細は、全中道研ホームページをご覧ください。スライドを掲載しています。



9 事務局長の紹介

令和7年度、全国の皆様と連携し、全日本中学校道徳教育研究会の充実・発展に努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



新宿区立落合第二中学校 校長 大川直樹
住所 〒161-0031 東京都新宿区西落合 1-6-5
電話 (03) 3565-0702

naoki.okawa@city.shinjuku.lg.jp (学校勤務先)